

# 豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol.27

静岡県水産技術研究所  
駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center

## 皇太子殿下が駿河湾深層水水産利用施設に行啓されました

去る10月25日（日曜）に、皇太子殿下が駿河湾深層水水産利用施設に行啓されました。殿下は、午前10時過ぎに当施設にお着きになり、御休憩の後、安井水産技術研究所長から駿河湾深層水の取水施設や水質、および当施設の研究内容について全般的な御説明をお受けになりました。その後飼育棟に移られ、深層水を使った魚介類の飼育状況を御覧になられました。

アカザエビのコーナーでは、当施設で卵から養成した1歳と2歳のアカザエビを御覧いただくとともに、春から蓄養した成体のアカザエビと、「アカザエビの香草焼き」という料理も御覧いただきました。

深海性魚介類のコーナーでは、深層水で飼育しているサクラエビのほか、卵から養成したボタンエビや、深層水の取水管に迷い込んできた深海魚のチゴダラを御覧いただきました。深海魚については、チゴダラのほかにもビクニンなどをパネルを用いて御説明申し上げました。

大型藻類のコーナーでは、サガラメ種苗の浮遊培養を実際に御覧いただくとともに、海域への移植や海面養殖の様子を写真で御説明申し上げました。さらに、サガラメの乾燥品や、サガラメから抽出したフコイダンも御覧いただきました。

最後に微細藻類のコーナーでは、当施設で深層

水から分離培養した珪藻の一種のラフォネースクの顕微鏡像を、パソコンのモニター上に映し出して御覧いただきました。さらにこの珪藻の乾燥粉末や、植物プランクトンを大量に培養するシステムについても、実際に御覧いただきながら説明申し上げました。

殿下は、いずれのコーナーにおいても研究員の説明に興味深げにお聴きになり、熱心に御質問されました。

殿下は1時間10分ほど御滞在になった後、当施設を後にされました。当日は当施設の周辺で国民文化祭の関連イベントが開催されていたこともあり、多くのみなさんが日の丸を振りながら、殿下のお迎えとお見送りをしました。殿下もにこやかに何回もお手をお振りになっていました。

（吉川 昌之）



写真 アカザエビを御覧になる皇太子殿下